

## 令和2年12月（第8回）教育研究評議会議事要旨

日時 令和2年12月16日（水）13:30～13:57  
場所 （ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を利用）  
出席者 35 / 35  
欠席者 なし

### ○ 前回議事要旨の確認

令和2年11月開催（第7回）の議事要旨（案）について、原案のとおり承認された。

### ○ 議事

#### 1 審議事項

##### （1）一般選抜（後期日程）及び国際バカロレア選抜に関する今後の方針について

佐野理事から、日本学術振興会の大学教育再生加速プログラム（AP）の事後評価の結果及び最近の後期日程の充足率や実質倍率の状況並びに今後の入学者選抜の在り方として多様な能力を見ていくべきこと等社会情勢を踏まえ、入試の在り方も変えていく必要があることから、①一般選抜（後期日程）を全学的に廃止し、その募集定員を原則として特別選抜に移行し、最終的に全学として特別選抜での募集人員を入学定員の30%程度まで引き上げること、及び、②国際バカロレア選抜の募集人員を入学定員の5%（全学で110人）として設定することについて方針としていくこととしたい旨提案があった。これに対し、全学の方針とすることについては理解するものの、後期日程の廃止については、過去の後期日程受験学生の能力や大学院への進学状況等から後期日程廃止のデメリット等もあるとの意見が出されたが、佐野理事から、入試に係るエネルギーやコストを3月の年度末までかけず、今後は考え方を変えて推薦選抜や特別選抜のリクルートにシフトして全学で優秀な学生を確保することとしていく必要があるとの説明があり、審議の結果、承認された。

#### 2 その他

##### （1）次回開催日について

今回は、1月13日（水）13時30分から開催することとなった。

以上